夕刊 磐城新聞
三月二十五日發行
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八〇五六五番

天氣豫報
小名濱測候所發表

今晩は北東の風 曇後晴
明日は北西の風晴

閑談夜話（一）

平華生

○忍術で汽車を停める

常磐線M驛の入り口で上野行の旅客列車がピッ、ピッ、ピッ非常警笛を鳴らして停車した。

スワ何かやつたぞ、轢死？衝突？と急いで駈け出すと間もなく長緩一笛徐々に列車が動き出して來た。汽車の窓といふ窓には人の顔が一杯だ、何をやつたんだらうと思つてゐると八、九才の茶目坊が機關車から降された。そして機關士と車掌から言葉知かに、この子供は線路の中に突立つて居て、いくら汽笛を鳴らしても外へ出ないので、止むなく停車したんだ。何の爲に突立つてゐたのか聞てみるとサッパリ要領を得ない。乘せて來たからよく調べて貰ひたいとて、驛長に引渡して行つた。それまではキョトンとして居たこの小僧、これや大變なことになつたと思つたのか、今度は大聲あげてワイ〳〵泣き出した。

段々調べて見るとその以前（大正八年）猿飛佐助の忍術の活動寫眞が大流行で諸方の活動寫眞館で上映してゐた。何處でも押すな〳〵の大入氣。殊に小供等の喜びは大したもの。その佐助の忍術なるものは變通自在で、兩指を組んで左右の人差指を合指起立させて念ずるならば、何でも思ふ通りになる。例へば數十尺の高い所へも飛上られるし大きな川でも一足飛びに飛越へることも出來る、又ヤッと氣合ひをかければ歩いてゐる人も馬も停まる、だから汽車なんか停めるのも朝飯前だなそて、面白可笑しくチャリを入れて辯士が説明するもんだから堪らない。頭の單純な惡童共はそれを眞に受けて、それじゃ一つ汽車を停めて見ようではないかといふので、この列車の來るのを目がけて線路の中で忍術を使つて見たら、案の定汽車が停まつたので、これはテッキリ忍術が効いて停まつたものと信じしゐたらしい。外の子供等は蜘蛛の子を散らすやうに逃げて終つたがこの小僧だけは機關車や車掌が降りて行つてもまだ忍術の眞似をやつてゐた。洵に危いことをするものだ、萬一間違つて轢死でもさせ樣ものなら大變だ、子供の頭や考へは至つて單純なんだから物をいふにも教へるにも又見るもの聞くものに就いても親達が餘程注意しないといけないと思ふ。早速親を呼び出して今後斯ふいふことのないやうに、充分取締つて貰ふことにして釋放してやつたさうだ。

3月26日
△新古今集成る（元八二）△貨幣法發布（明治三二）△始めて所澤にて飛行機飛行す（同四四）

講談 髑髏組（どくろぐみ）

林 金兵衛 作
金子 文郎 畫

(147) 幾代の過去（七）

幾代には、金之助が、何を云ひ出さうとしてゐるかがよく判つてゐた。だから故意と物固く改まつて、

『それは一體、どんなお話しで御座います』

と、其處へ座り直した。

『そんなに、固くなられると、どうも』

金之助は案の條云ひ澁つて、その儘もぢ〳〵と口籠つた。

『では、後程にまた』

『もう行つて仕舞ふんですか幾代さん』

『えゝ一寸、あんなに呼んでゐますから』

『まゝ待つて下さい、私は貴方に、是非折入つてお願ひがあるんです』

『あとで、悠くり承はりますわ』

『いえ、今聞いて下さい、決してお手間は取らせませんから、これはもう、此の間うちから、折があつたら云はう〳〵と思つてゐたことなのですけれど』

『いえ、幾代さん、貴方はもう來て呉れないつもりでせう。云ひます。思ひ切つて云ひます。實は私は、あ貴方がお嫁に欲しいのですか、貴方へ、御承知下さるのなら、ちゃんと道を踏んで話をしたいと思ひますが』

やつと、これだけの事を云ふのに、金之助の顔は、まつたく上氣してゐた。

『その話しでしたら、どうぞそれッ切りになすつて下さいまし、妾は夫も子もある身體で御座います』

『嘘だ。貴方は私に嘘を云つてゐるのだ。私は、亭主から聞いてちゃんと知つてゐる。貴方には定まつた夫はない、それに子供なんかある筈がない。私に諦めさせようとして嘘を云つてゐるのだ』

『嘘ではありません、本當のことです。妾の身の上には此の家の御亭主もまだ知りません』

『それでは、何故こんな處にゐるのですか』

『これには色々譯のあることで、どうぞ訊かないで下さいまし』

『それ御覧、嘘だ。ちやわ[illegible]入に何をしておいでです、そうして子供は』

『それもござんそ、何んにも訊かないで、下さいまし』

『嘘だ。私は、貴方がなんと云ても、此處の亭主にも話し、家の者にも話し、必ず今よりもすつと幸福にしてあげる』

『いゝえ、妾は、今だつていつとも幸ではありません、どうだおかまひ下さいますな』

幾代は、素氣なく振り切つた。

『判りました。貴方は、私しを厭なのでせう。それで、そんなに逃げを張るのです、それならそれできぱ〳〵云つて下さい』

『妾は、お客様の誰方にもこんな素氣ない氣持なのですから、どうぞ惡く思はないで下さい。そんなお話しをなさらず、たゞお客樣として面白く遊んで頂けば、妾はこんな嬉しいことは御座いません』

『さうですか、諦めぬ事を云つて、私が惡う御座いました』

諦め切れない諦めではあつたが、あまりに固い幾代の心に、金之助は今更ながら恥かしくなつて、それつきり口を噤んで仕舞つた。

『そんな風に、謝まつてなど下さいますと、却つて妾の方が苦しう御座いますだ貴郎はお客様ちやありませんか、お客様だつたら誰だつてそれ位の冗談は仰有います』

『幾代さん、決して私は、冗談なんか云ひません』

勉強は酬いらる

第三校優等生

（四の一）網代嘉一 根本久彌 吉田普 松崎澤正美 田口光男 鈴木鐵也 荒木晴久 吉田三 （四の二）西野晃 根本正八 小池文夫 鈴木榮一 酒井嘉雄 瀧京三 鶴山高樹 伊藤邦彦 高木賢司 （四の三）田中千代子 矢代琴子 小野寺美子 多田井操 味香滋子 佐分和子 山田幸子 高木スミ子 （四の四）小野朝子 關内瑞子 小野口昭子 猪狩優子 岡田米子 鈴木淸子 佐藤久子 尾形ハツ子 （五の一）井上通 本阿彌 芳賀武重 小熊榮一 加美山精三 諸橋鐵二郎 小泉武夫 鶴山利雄 吉田正治 （五の二）小松茂正 福本寅雄 金成俊男 根本正 三井愼一郎 木村亨 齋田壽男 橘昭一郎 飯澤武 （五の三）酒井富美子 松崎智惠子 佐久間雪子 根本和子 稻沼高子 村田淑子 渡邊律由子 服部よく 相澤喜代子 （五の四）小宅トミ 永山智子 青木綾子 志賀タカ子 古川エイ 荒木顯子 根本笑子 多丸マ。子 安齋良子 （尋六の一）諸橋英祐 瀧口友人 菅野光洋 田邊昇 大越啓行 山崎可夫 岩村怜 藤岡規悦 若松英信 吉田良次 （六の二）鈴木博 藤田五郎 志賀牛澤三男 鈴木健三 丸山一郎 新家武芳 横山一郎 酒井博 五味淵一 （六の三）五十嵐由紀子 梅津文子 根本アイ子 松崎マチ 吉田トシ 佐藤昌子 高木民子 布施敏子 遠藤文子 加藤紀枝子 （六の四）三森孝子 鯨岡美喜 佐藤方子 丹齋幸子 有我悦子 西野秀子 宇田川アヤ子 菊田常子 西郡京子 鈴木テル子

戰勝ノ春、各種裝飾品

櫻コード・ボンボリ、花見提灯、花見假裝用具カツラ、ツケヒゲ、團体徽章各種
三月ヒナ人形。ママ人形。フランス人形。日本人形。

平市一丁目
教育玩具雜貨問屋 森下商店 商號豆屋 電話（モリ）又ハ（モ）

固定給で生活保障

一、外交員を迎ふ
男女、經驗の有無に拘らず年齡二十五才以上の奮闘家を求む
固定給の外歩合を給す
（お希望者履歴書送附されたし、面會日通知す）
野村生命保險株式會社 平出張所 結城勝美
平市鍛冶町一番地

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

鑑定項目
名前でみて一代の命運……何でもわかる……
体力 肉体疾病（健康、不健康、相貌）（病根病勢、病名）に關する一切
活動 職業天運（適業、不適業）（天運、不成功、炎厄）に關する一切
血緣 家族運 男女緣（父母の緣、夫婦の緣）（子供有無）（氣質、相剋、相尅婚期方位）に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、生名、生兒名

戰捷ノ春ノ雛人形賣出シ
特製 雛人形 お伽人形 御道具類 特賣
平市三丁目
金太郎玩具店

精神病科 腦脊髓病科 神經病科
内務省指定
福島縣立代用精神病院 郡山腦病院
郡山驛より約三十丁 安積中學より約五丁
郡山市外大槻村針生 電話九二五番
入院隨時 院長醫學士 金森五郎

和洋 建具 家具 テーブル 椅子……
其他裝飾品一般……御用命は迅速に御務め致します。
諸官衙 各學校 御用達 製作販賣
（片） 平市五丁目四 **片寄製作店** 片寄小彌太 電話四八四番
十五、六歳以上の見習徒弟募集、御希望の方は至急申込下さい。

ベークライト職工 見習募集
一、募集人員三十名
一、年齡十四歳以上二十歳迄ノ男子
一、待遇 十四歳―十六歳日給七十五錢 十七歳―十八歳 八十錢 十九歳―二十歳 一圓 技術修得ト共ニ漸次昇給ス
一、寄宿舍の設備アリ、賄料ハ實費トス
一、申込所 平市職業紹介所
詳細ハ、ミクニ工業所若クハ平職業紹介所ニ問合ハセラレタシ
東京市大森區大森町八 新井町七丁目二六二
ミクニ工業所 電話大森六九〇九番

今年は戰捷の**雛まつり**
◇◇◇
桃の節句が近づきました 日本古來獨特のゆかしい雛祭を盛大にいたしませう。
◎東京第一流豐月特製
▼雛人形 ▼時局人形 ▼御道具一式 ◎特賣◎
平二丁目
フクタヤ祝品部

お醬油は……ヤマフル
醬油 山崎合名會社 福島縣平市 電話（營業部一〇番 本店二七番）
味噌 錦 たひら正宗 罐詰 食料品
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

ニッポン。魚は凍らせ
日本水産 特約 **平製氷會社** 電話二三八・三三六番
タイ ヒラメ 甘鯛 エビ マナ鰹 白魚 帆立貝柱 冷カヅノコ ウニ貝燒
マル東魚
卸賣店 四丁目 魚問屋 電話五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

雛人形特價賣出し
桃の節句が近づきました。東京一流のデパート陳列の最新型 本目込人形各種取揃ました。どうぞ御覧下さい、他店に類の無いお伽噺の最新人形も澤山陳列致してお客樣をお待して居ります。
平市四丁目角 **菅野屋商店** 電話一五七番

獨特の珈琲とWINE
紳士の喫茶店
グリルバツカス
サービス料一割（外拜辭）
平市銀座通りTEL七〇二
◇……◇……◇……◇
女店員募集
年齡十七才位より廿五才位まで
月給四拾圓以上支給漸次昇給
待遇衣裳貸與致、
何の氣苦勞なく朗に働ける間に給料で眞面目に働きたい方健實な生活を望まる方は至急御出下さい懇切に御指導致します

一、レンタン
一、豆炭
各種特價販賣
薪炭大暴騰ノ折カラ御家庭ノ經濟燃料トシテ御勵メ致シマス
電話三七番
平驛前
阿部石炭店

立派な設備を整へ 保健所（八幡小路）愈よ店開き
民衆的の活躍期待さる

來月一日から愈よ全國五十ヶ所の一として平市にも保健所（ヘルスセンター）が店を開くことゝなつた。準備その他の關係で幾分遅れるにしても當市では八幡小路に於て、醫師、藥劑師、記、保健婦、衛生指導員醫員で、レントゲン、顯微鏡など間然する處無き設備の下に、親しく民衆と手を握つて衛生方面の相談相手とならうと云ふのである、この保健所の取扱ふ仕事は衛生思想を普及するため講習會や懇談會を開催するほか衛生参考品を同所會議室に展覧したりまた榮養改善のため主婦に對し日常食品の榮養指導や出張指導を行ひ、また衣服住宅の改善のため農村作業服の作り方を教へたり姙産婦を定期的に呼んで相談に應じたり乳幼兒の育て方など痒い所に手の届くやうな世話をすることとなつてゐる

教員保姆檢定試驗 來五月中市で

十三年度本縣の小學校教員並に保姆檢定試驗は五月十六日から五日間平外五ヶ所で執行される、願書は四月一日から十五日まで郡教育課で受付ける

晴やかに笑む 平第一校優等生

（二）

（五の一）市原二良 佐川英一 高階要 千葉文彦 新妻唯一 加藤登 中澤渉 三井隆夫 鈴木壽太郎 早川一五 馬目隆雄 坂本剛 卜部正男 （五の二）吉田昌八 清水宣政 鈴木啓吾 大嶺慶一 古市光之 佐々木三雄 志賀恵三 長谷川稔 草野秀夫 小野健二郎 淺信一 兒山敬一 相川文雄 （五の三）大和田一郎 高木男 武田太一 菊地武彦 本多英夫 吉田勤 早川昭夫 作山和男 緑川昭 袴塚弘文 石井保 齋山薫 大塚幹 （六の二）草野昌平 根本孝三郎 青沼康裕 野口秀哉 佐藤善一 安藤信 川崎繁男 志賀久平 三浦甚一郎 中村一郎 新妻安男 （六の二）佐藤信男 鈴木仁 山崎七郎 柴田秀雄 伊關治郎 佐竹五郎 藤田彌輔 武田三郎 伊關直治 菊地信榮 三瓶繁美 （六の三）藤居喜一郎 柏木洋二 吉成方義 青木信夫 田中輝郎 加藤慶祐 阿部正義 山崎剛 古川浩平 吉田信夫 吉田浩平 （六の四）國府田信良 石田吉男 佐藤義文 緑川虎之助 馬目英一 山崎靖大 小齋俊雄 牧野聰 郎 八巻敏男 河野光男 樋口博尚 （高一の一）毛塚幸男 齋田義郎 澄川欣次 草野博 松本勝平 田山弘平 辻幸一郎 高橋勝正 淺倉正義 根本貞一御代一郎 黒木泰吉 （一の二）野澤芳男 緑川三郎 二片英治 鈴本健助 佐藤重春 渡邊英夫 菊地信治 田村豊治 高橋卓 松崎佐仁郎 坂本孝平 佐藤長吉 （一の三）酒井平 遠藤保男 石川榮一 大平泰明 馬瀬孝雄 齋藤利 黒木常吉 半内喜一 瀬戸博 小松新平 川又正男 齋藤秀夫 （高二の二）飛田常夫 星俊二 小野正吉 末下藤三 齋藤修三 渡邊陽一 鈴木英男 深谷勝雄 諸橋金彌 吉田昇

今日ぞ喜びの日 平第二校の受賞者

（二）

（尋六の一）石井芳子 羽石芳江 星野春 小野信子 渡邊昌子 田巻隆子 高木良子 鵜沼敬子 牧野伊久子 相澤い子 北林とよ子 荷野光子 清野俊子 菅原子 （六の二）伊藤直子 伊藤啓子 長谷川光子 菅野榮子 山中久江 山崎榮子 增井やす 遠藤みつ 飯沼俊子 水野智恵 淺野瑛子 中野靜子 野崎貞子 深谷とし子 （六の三）新妻愛子 吉田輝代 吉成照子 村上まさ 太田二三子 正木田鶴子 小齋峰子 酒井正子 木村いみ 柴田三保子 井坂京子 菅本よし子 鈴木ちよ 鈴木靜 （高一の二）大川鈴子 米倉榮子 永島幸子 中野たに 那須きみ 松崎とし子 佐藤三保子 木村ふき 白土ふく （一の二）伊東英子 金成芳枝 加美山さと 福本文子 阿部愛子 櫻木ゆき子 作山清子 鵜田たま 白土あい子 （一の三）若松とも子 伊達美代 國玉秀子 山本志ん 秋山今朝子 佐藤正子 佐々木千枝 木下良子 鈴木美枝子 （高の二）林清子 根本孝子 大島きみ子 大平のぶ 天野ふみ 江尻きよ子 酒井貞子 佐藤ひさよ 水野美智子 關内敏子 （二の二）猪狩みい子 井上桂子 八田とみ 新妻英子 西郡絹子 大槻きよ子 加藤春子 影山さと子 宇田川あい子 木田しめ （二の三）高田ぬい子 田中愼子 永山匡子 小野竹子 阿部英子 帝珠江 佐藤初 佐藤喜代 鈴木文子 鈴木光子

（進歩賞）＝（尋一の一）小川直子 柏あふじ子 大谷瑛子 （一の二）石坂敦子 小林充子 平野榮子 （一の三）西脇あい子 吉田せつよ 小鍜治と美子 （尋二の一）片寄永久子 永島みつい 八巻知恵子 （二の二）林初子 篠崎禮子 鈴木延枝 （二の三）齋藤りね 袴塚美佐子 藤居登貴子 （尋三の一）神長倉公子 高橋泰子 松本節子 （三の二）畠山富子 盆弘幸子 近藤みさよ （三の三）伊達昭子 山田治江 小野坂きみ （尋四の一）金田たま子 後藤美津子 齋藤潔子 （四の二）大塚千恵子 關内瑞子 三森志紀子 （四の三）吉村とし子 鈴木千恵子 鈴木ゆう （尋五の一）長谷昌子 鹽坂幸子 須賀井直 （五の二）國玉久子 草野久子 赤木照子 （五の三）橋本とし子 田名網さよ 齋藤律子

◇×……×◇

藤田卒業生
各科合計百五十名

藤田女學校第五十三回卒業式は二十六日午前九時から擧行するが卒業生氏名左の如し

本科（四十六名）（五十音順）

阿久津悦子 岩崎ちゑ 石井ケイ 石井美智子 宇佐美喜久子 遠藤シメ子 荻野フミ 大越イク 大和田光子 大垣鏡子 小倉みつ 上遠野宮子 木村サヨ子 北原シン 北原トミ子 菊地敬子 草野美代子 熊田キヨ子 工藤クニ 熊谷正子 熊田キヨ子 小林タミ子 佐藤富子 佐藤町子 佐藤トミ子 白石キミ 鈴木省子 鈴木スミエ 鈴木ライ 鈴木靜枝 鈴木克子 鈴本ノブ子 高木ヨシヨ 高木秋子 織愛子 富岡すみ 中山三八子 中洞幸子 永山ミツ 牛田目美與子 南部敏子 能藤靜江 長谷川英子 原田好子 宮島ミつ

師範科（七名）＝熊谷芳枝 小玉仁井子 佐藤ケイ子 戒田笙子 柴田しつ 鈴木信子 岡部晟子

専攻科（二十五名）飛鳥幾久子 會田キヨ 愛川秀子 小山靜江 粥塚方子 柏原久子 木田芳江 中田クラ 熊谷敬子 小堺彌惠子 鈴木貞子 鈴本キヨ 須藤富子 鈴木千代美 守田ヨシ子 中島久子 中野クニ 中村愛子 箱崎道子 堀江千代 松原八重子 松本禮子 本橋敬子 吉田德子 渡邊ヨシ

裁縫專修科（七十二名）＝赤土トヨ子 愛澤キヨ子 市阿部富子 伊東歌子 市川マサ 磯上喜美子 石沼トヨ 石川ナカ子 伊藤ヒデ子 大平みよ子 大和田とし子 大橋てる子 大平良子 大平孝子 加藤好子 加藤あや子 勝本ナヲ子 金澤みと 加藤まさ 片寄いく子 木田常子 木田正代 菊池きよ子 木村初子 熊谷節 國井あさ子 草野靜江 小林はる子 小菅富子 小泉貞子 小泉きみ子 佐藤ふみ子 坂本きよ子 佐藤うめ子 佐藤たか子 椎名みつね 志賀よしゑ 志賀千代子 白土初子 鈴木ゆき子 鈴木敬子 鈴木やす子 鈴木正子 鈴木はるよ 瀬戸榮子 高木もよ 谷平千代子 高木みき 豊田みよ子 豊澤うた 長瀬ゑ子 西山はつね 新妻あさ子 新妻ゆき子 新妻のぶ子 根内きそ 根本春榮 根本龜代 長谷川久子 羽賀もと 船生ふく 松本千里 松本廉子 松本一子 三森文子 諸橋美代 山野達子 山際ヨシエ 吉田篤 吉畑好子 吉田稔子 渡邊さた

市役所保管の 慰問品紛失
一部の惑を招く

平軍事後援會では昨報の通り前線勇士へ贈る慰問品の一部として藝妓屋組合から新田町美形連の寫眞若干枚の寄贈を受け、荒涼たる殺縁に和かな氣分を提供すべく計劃中の處、市役所に保管中該寫眞の六分一が何時の間にか紛失し時局柄苦々しい事として有識者の顰蹙を招いでゐる

けふ小名濱へ 鰹三百尾水揚げ
本格の漁は五月頃

目に青葉山ほとゝぎす。には未だ一寸間があるのに、昨今市内鮮魚商店には早くも此魚獨特とも云ふべき見るからにキビ／＼した鰹がその鮮新な姿を見せてゐる袷を質入れしても味覺求眞の三昧境を滿喫せんとする伊達者はありや無しや、ま兎も之を『初鰹』と呼ぶかどうかに就き小名濱の縣水産試驗場にたづねると

小名濱としては今日（二十五日）水揚げされる三百尾程が最初なので昨日あたりのは何處かこの廻り物である。何れにせよそれは野島沖合千哩位の海區で獲れたもので今回の分は鰹専門でない大縄漁船が獲つたもので之を以て初鰹と云ふ事は出來な。磐城丸が本格に出動するのはどうしても五月頃にならう。云々

毎月、勇士に激勵文
内郷愛婦の銃後運動

内郷村愛國婦人會では毎月八日幹部會を開いてその月の銃後運動を協議、十一日の慰問日には會員が手分けして夫々遺家族家庭を歴訪心から慰めの言葉を贈つて感激せしめてゐるが更に毎月第一線の兵隊さんに激勵文を送つてゐる、その最近のものは

――只管祖國の爲東洋永遠の平和の爲御奮闘遊ばさるる將兵の皆々樣に心からなる御禮と感謝の言葉を述べさせて頂きます（略）御定内御一同樣務の外お元氣でお小さいた子樣方迄が偉いお父兄樣子なればとの自重心の下に強く生きて行かうとの御氣持が窺はれまして涙ぐましい極みで御座います（略）憎むべき敵を降伏せしめて一日も早く御凱旋遊ばされる日を遥かにお祈り申上げます

平市會招集

本市會は大体三十日頃開き十二年度農業繰越（土木、水道其他）十三年度追加更正豫算を附議する

追加豫算のうちには公會堂日本間費一萬圓の起債

けふ嬉しい入學日
各校に漂ふた明朗光景

早くから買ひ整へた帽子、靴、背嚢、教科書其他の學用品を眺め乍ら『もう幾寢たら……』と樂しみ待つた入學の日は來た。ハチ切れさうな嬉しい興奮に常より早く目を醒ました男女就學兒童は、之亦新調の雨具を翳し乍ら、各保護者に伴れられて細雨の中を夫々定められた學校に出かけた。午前九時から受付け開始、パンツ一つで身長、体重、胸圍、座高等を測つて貰つた上、校醫の身体檢査があつて組や席が定まり、玆に愈よ小學生としての第一步を踏み出した。けふの市内就學兒童は

（第一）二百十九名（第二）二百十名（第三）二百四十九名（第四）百二名 合計七百七十名である

る含まれてゐる

鮫川小川組合總會

灌漑面積六百九十一町步、去る昭和九年度に總工費三十六萬圓の四ヶ年繼續事業で着工し鮫川堰水路工事は着々事業を進めてゐた今年度を以て事業年度が滿了する、年度内に當初計劃が完了するかどうかは未だ決つてゐないが延期の場合は臨時會にかけて事

組合では來る三十一日午前十時から平園体事務所に定時總會を開き決、豫算を附議するが新豫算は五萬五千八百十四圓である

小川江筋組合總會を二十九日午前十時から平園体事務所に開き決、豫算を附議するが新豫算は三萬二千九十三圓

銃後費寄附

市内古鍛冶町出身荻洲部隊高野四野君は此程平署を通じ新入學生の貧困家族へ十圓寄附

平第一校四の四猪狩優子、關内瑕子、新妻きく子、小野朝子、鈴木千代子さん達は紙屑を賣つた七圓七十八錢、又一丁目出身兵志賀喜久夫君は金十圓を何れも市役所へ

季節列車運轉
鐵道春の準備

水戸運輸事務所では例年春の遊覧季節を目がけ團體遊覧の勸誘に大馬力をかけてゐたが今年は本省の主旨に基き營利的見地捨て國民總動員、國体明徴、國力充實、國民精神の昂揚、體位向上の國策的に線に沿ひ乘客誘致の變革を斷行、近く本省に開かれる會議に個人的季節割引、ハイキング割引（五、六月）の割引指定地を試案として提出することゝなつた、なほ季節による輸送激增に備へ主要幹線には臨時列車を運轉することは例年の通りである

△季節列車運行

常磐線廻り上野＝青森間下り一二〇一列車上野發午後六時五十分平發下時二分（三月十九日から四月三十日まで）二〇五列車上野發午後十時三十五分、平着午前二時十四分（三月二十七日から四月十八日迄）上り一二〇二列車青森發午後十時十五分、平着午前七時二十二分（三月十九日から四月三十日まで）二〇六列車（仙台發午後十時三十七分平發午前二時二十五分）三月二十七日から四月十八日まで）

湯本國婦獻金

湯本町國防婦人會では不用品賣上金其他を取纏めて四十二圓四十錢を福島聯隊區へ寄託

林野組合表彰式

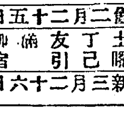
平署管内林野保護組合の優良者表彰式は來る二十八日午前十時から同署會議室で擧行されるが被表彰者は飯野、夏井、神谷外十七組合で百一名に上つてゐる

將棋大會

平將棋倶樂部主催の將棋大會は明後二十七日の日曜をトし午前九時より市内五丁目吉田屋に於て開催するが優勝者は市長盃を贈呈する、多數の參加を歡迎すると

二十六日（小名濱測候所發表）

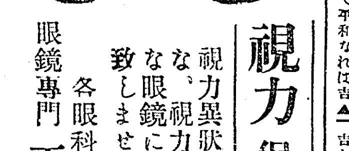
滿潮 前一一、〇〇 後一一、一一
干潮 前五、三五 後七、〇五



舊二月二十五日				
土曜	丁己	友引	滿	柳宿
新三月二十六日				

諸判定應需 東京市本郷區湯島四丁目 高島易斷總本部 神誠舘

▲一碧 身飾りた實業にして分限な守れば大吉なり▲二黒 意地を張り過ぐる時は不爲を醸すことあり▲三碧 身の健かうな保ち無益の空想を去り時を待て▲四綠 外に對する努あれども内にさびしき所あり▲五黄 心をむなしうし能く人言を容れて平和なれば吉▲六白 迷ひ迷ひて元氣を損ず勤くに勝りたるなし▲七赤 大節に幸運に向くべし氣を和ぐれば更に吉▲八白 榮するよりも諸事調子好く運び行く日なり▲九紫 急進は大過の基ひあせらず徐々と運ぶに吉し



視力保全運動

視力異狀に早期檢眼明快な、視力能率增進、正確な眼鏡により視力を保全致しませう。

各眼科御用 眼鏡專門 玉屋眼鏡店 平市二丁目

萬年筆とシャープペンシルは今さらに

萬年筆の十四金ペンは金の統制で十二金ペンに低下されました、その上萬年筆とシャープペンシルは四月一日から課税される事になるでせう

この際！ この時！ 當店は パイロット萬年筆の十四金ペン付手持品全部を皆樣に解放して十四金ペンの書き味をおすゝめ致します

（友）マルトモ柴田書店 平市四丁目 電話一二三四番 二二四四番

見習徒弟募集

見習徒弟 二十名 女工 十名

年令十五六歳ノ方至急申込マレタシ 給料本人面談ノ上定ム

平市十五丁目 平特産 木工品一式製作 佐藤木工所 電話二五三番 振替東京五七一七六番

商工省推奨優良國産 ◇◇◇◇◇

東京ミシン 平販賣店新設

國産ハ銃後ノ守リ身ノ守リ 一家ニ一台朗御召本邦女性ノ友東京ミシン一臺御自宅ニテ御試用歡迎御申越次第係員伺マス 販賣月賦金五圓

平市南町十番地 東京ミシン製造株式會社 平販賣店 販賣社員招聘 電話（呼）四八五